

## スポーツイベントにおけるボランティア活動 の継続意欲に関する研究

— 満足度が継続意欲に及ぼす影響について —

○ 綿 祐二 (鹿屋体育大学大学院) 野川 春夫 (鹿屋体育大学)  
山口 泰雄 (鹿屋体育大学) 菊池 秀夫 (鹿屋体育大学)

スポーツイベント スポーツボランティア 満足度 継続意欲

### 1. はじめに

近年、わが国では、市民マラソンなどのスポーツイベントが各地で開催されている。このようなイベントの開催は、スポーツの大衆化の促進とともに地域の活性化を目的としている。このようなスポーツイベントは、大会事務局だけでは運営することができず地元の地域住民によるスポーツボランティアに運営を委ねているケースも多い。本研究では、スポーツボランティアを「自発的に無償でスポーツイベントなどで奉仕活動を行う者」と定義した。スポーツイベントでのスポーツボランティアの役割は、審判から交通整理まで幅広くあり、運営のほとんどがスポーツボランティア達の力に依存している。大会事務局は、スポーツイベントを毎年続ける事を望んでいることから、スポーツボランティアの数と質をいかに維持し継続させる事が重大な課題のひとつであると思われる。

スポーツ活動の継続に関する研究で山口(1986)は、過去のスポーツ参与の質的経験、つまり満足感を経験した者は、現在もスポーツ活動を継続する傾向があるとしている。このことからスポーツボランティアにとっても活動に対する満足感が今後のボランティア活動の継続に影響すると考えられる。

そこで、本研究の目的はスポーツボランティアの初参加群と2回以上参加のリピーター群のボランティア活動に対する満足度を比較検討し、満足度が継続意欲にどのように影響しているかを明らかにすることであった。

### 2. 研究方法

調査対象：鹿児島県指宿市で開催された「菜の花マラソン大会」に参加した  
スポーツボランティア123名(男：31名 女：92名)

調査時期：①1989年1月8日～1月28日 ②1989年2月27日～3月6日

調査方法：質問紙による留置法及び郵送法、有効回答数123(回収率27.8%)

分析方法：クロス集計、 $\chi^2$ 検定、t検定、ピアソン積率相関係数

### 3. 結果及び考察

#### (1) 活動頻度と満足度

スポーツボランティア活動の初参加者群(n=46)は、リピーター群(n=70)よりもスポーツボランティア活動に関する全項目で高い満足度を示していた。t検定を実施した結果、個人的満足感の6項目中4項目で有意差(p<.001)がみられ、一方社会的満足感の6項目中2項目で有意差(p<.001)がみられた。初参加者は、ボランティア活動が新鮮なものであるためより高い満足度を示したと考えられる。

